

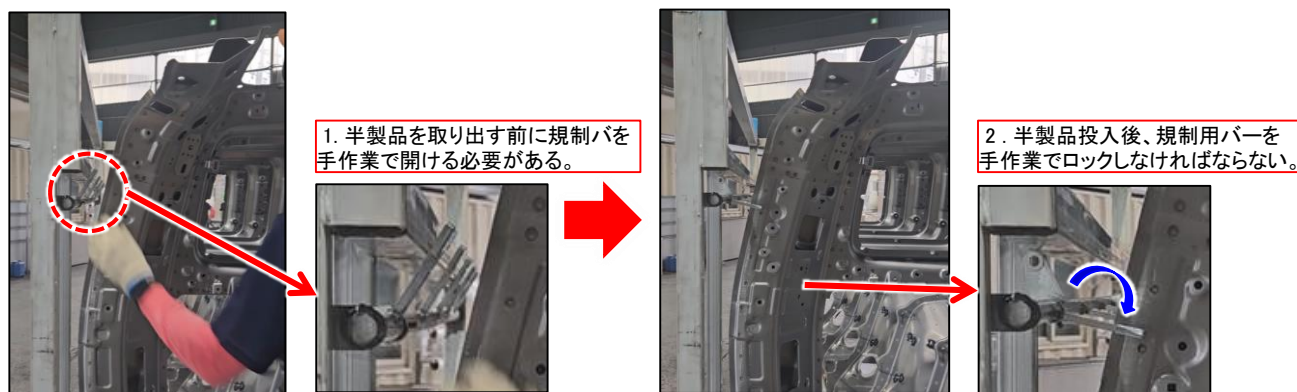
作品名 **納品容器製品規制自動化**

作品概要

パレットか製品を規制して自動化による作業負荷及び半製品変更減少

動力源	メカニズム
重力、人の力	リンク、てこ

改善前



- 1) 規制用の手作業操作による作業負荷の発生する。
- 2) 規制用バーの操作漏れ及び誤操作による運送時、製品の変形及び衝突発生する。

改善後

半製品取り出し時 - 規制用バー自動開き	半製品購入時 - 規制用バー自動閉まる
<p>リンク 下降</p> <p>ディバイド 上昇</p> <p><ディバイド上昇の状況></p>	<p>リンク 上昇</p> <p>ディバイド 下降</p> <p><ディバイド下降></p>
<ol style="list-style-type: none"> 1) 半製品を取り出すと、製品に押されていたディバイドが上昇する。 2) ディバイド上昇時にディバイドと連結されているリンクが下降する。 3) リンク下降しながら引き下ろす重力で規制用バーを開いた状態で回転させる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 半製品を積載する際、製品の重さでディバイドを下降させる。 2) ディバイド下降時にディバイドと連結されているリンクが上昇する。 3) リンク上昇しながら押し上げる力で規制用バーを閉じた状態で回転させる。

効果

- ▶ 移送中の半製品の離脱による衝突及び変形減少出来る。
- ▶ 作業者の工数節減金額: 1名 x 1.67Hr(日 操作時間) x 24日(勤務日) x 1,750円 = 70,140円/月 節減(701,40円 x 12カ月 = 814,680円)